

桜台ニュース

平成28年度 第5号
発行日：平成28年8月
編集/発行者：桜台自治会 広報部

本部役員会報告（8月7日(日)開催）* 議事録を兼ねる

【開催時間】 9：30～12：00 【場所】 2階大ホール
【出席者】 会長、副会長、地区長、理事

回 覧

I、会長報告：内容詳細は別紙「平成 28 年 8 月度会長報告」参照

1. 7 月度の出来事〈行事関係、市役所・消防情報等〉

2. 審議（決議、検討・確認）事項 特になし

（決議事項）① 花の種、苗等（各公園対象）の無料配布への対応について

申込期日が 8 月 15 日なので自治会が申し込みをしておき後日配布や移植について検討することで了承された。

（報告事項）① 平成 28 年度市原市総合防災訓練について＊桜台版は別紙参照＊

桜台からは、40 人の参加となるが、本部役員 24 人、防災部員 15 人及び南小学校区安心・安全ネットワークの 4 人で対応するので、当日都合の悪い人は事前に連絡ください。

② 平成 28 年度有秋地区敬老会について＊別紙常務役員会資料参照

従来通りアネッサにて開催されるが、社協からの対象者名簿で参加者調査を実施して、参加者への案内状を作成する。前日の準備及び当日の作業について、舘野副会長、福祉部（有志）及び広報部（取材）の協力をお願いする。

3、特記事項 (1) 福増クリーンセンター（火災による第 2 工場停止）の状況について＊別紙参照＊

(2) 来年度からの敬老会について＊別紙参照＊

(3) 自治会館のお盆の休館日について＊別紙参照＊

4. 7 月の入・退会情報 転入者：2 世帯、転出者：1 世帯

（討議）桜台のホームページに桜台ニュースが掲載されているが、この中に転入転出情報として氏名と住所の記載がある。個人情報の漏出として問題提起されているが、掲載段階で住所を消す等の対応を考えることとした。今月分は、丁目のみの記載とする。

II. 副会長報告 末永副会長：新会計方式について異議がなければ、会計基準等の改訂を行い実行に移したい。

III. 地区長報告 特に報告事項なし

IV. 専門部報告（特記分）

1) 防災部：災害時安否確認方法の提案（＊別紙参照）がされた。

(1) 安否確認シートの見直しに当たり、行政が作成したもので事足りるのではないかな。また災害発生後どのようにして安否確認するのか、その中で安否確認シートをどのように使用するかははっきりしないとの意見が防災部内にあった。

(2) 災害時、短時間でたくさんの人を救出するためには、無事であることを何かサインで示すことが必要であるという観点から、タオルまたは旗のような目印を各世帯に配布することを提案したい。

（意見）① 安否確認シートは、何らかの方法で災害時安否確認に活用できている人がほとんどで、1200 余世帯に目印としてのタオルや旗を配っても災害時に活用できるかわからないため、無駄になる可能性がある。

② 災害時に重要なのは、近隣の住人に声掛けしてまず安全を確認することが大切で、日頃から近隣住民の中に避難要支援者がいることを前提とした住民相互の安否確認行動が必要である。その上で避難場所において集合時、安否確認シートが活用できるのではないかな。

③ 防災班においては、安全サインとしてのタオルや旗を各世帯に配るという提案だけではなく、災害時の初期対応について災害の大きさの想定、各自の対応行動、班としての対応行動、班の中で動ける人を中心とした初期活動、その中での安否確認シートの活用等を総合的に考えてもらいたい。その上で無事の目印としてのタオルや旗を提案してほしい。

2) 防犯部：夏祭り時のゴミの処理について

部員が手分けして持ち帰り、ゴミ収集日に出すことで対応するのは問題がある。

＊昨年は、ご意見のように思ったので1か所に置いておき排出したらと提案したが、防犯部の意見は、個人宅で預かるということだった。

- (意見) ① もともとは、祭終了後、分別収集されたゴミを会場近くの一時ゴミ保存場所に集めゴミ収集日に出すようにしていた。この方式を考えてほしい。
- ② 予め分別したゴミが収集できるように、またカサ張るもの(弁当箱、缶、ペット缶等)は潰してゴミ箱に入れる、自分で出したごみは自宅に各自持ち帰るようなことを考えてもいいのではないかと。(本来はこれが原則)

VI. その他意見交換

＜夏祭り準備について＞

夏祭り実行委員会から「2016 桜台夏祭りプログラム」「平成 28 年度夏祭り実行委員名簿」「16 夏祭り盆踊り会場図」「平成 28 年度夏祭りチェックリスト(19 日用)」が配布され説明を受けた。

＊本ニュースでは資料省略

特に意見なし。

(重要連絡事項)

- 班長以上の自治会役員の全員集合についての再確認。各担当の集合は担当リーダーの指示に従う。

- ① 祭日前日(19 日) 準備作業: 8:00～11:00 頃 自治館前集合
- ② 祭り当日(20 日) 準備作業: 8:00～11:00 頃 自治館前集合
- ③ 祭り終了後の後片付け: 21:30～22:30 頃 会場やぐら前集合
- ④ 祭り翌日(21 日) 撤去、清掃: 8:00～10:00 頃 会場やぐら前集合

- ペットボトルで凍らした氷の持参

班長を含む役員は 500ml のペットボトルに入れた水を凍らして最低 1 本、祭り当日 13:00 ～ 15:00 頃までに祭り会場に持参してください。

以上

平成28年8月度 会長報告（8月7日）

会長挨拶

本日（8/7）は、"立秋"ですが、まだまだ厳しい夏が続きそうです。熱中症には十分に気を付けて、ゆく夏を楽しみましょう！

リオのオリンピックも始まりました。JAPANの輝かしい活躍を期待しましょう。

今月の20日（土）は、1大イベントである、「桜台夏祭り」です。イベント企画部を中心に万全な準備がされていますので、皆さん、大いに楽しんでください。

I. 7月度の出来事＜行事関係（自治会、関係団体）、市役所・消防情報等＞

1. 7月 1日（金）有）町会長連合会役員会議（有秋支所）
* 盆踊り大会の担当別準備進捗確認
2. 7月 8日（金）有）町会長連合会全体会議（有秋支所）
* 防災訓練の説明受け * 盆踊り大会の担当別準備進捗最終確認
3. 7月 9日（土）有秋地区NW懇話会（有秋公民館）
* 各NWの報告 * 社協からの連絡
4. **7月10日（日）自治会本部役員会**
* 議事録は桜台ニュース（第4号）参照
5. 7月17日（日）有秋地区盆踊り大会（有秋公園）
* 7/14（準備）～7/17（本番）～7/19（最終片付け）
* 大竹副会長・伊藤イベント企画部長には準備の手伝いをいただきました。
* 桜台より音響チーム、アナウンス嬢派遣（反省会では非常に好評）
6. 7月19日（火）有秋南小学校区安心安全NW推進委員会（椎の木台自治会館）
* 各専門部の報告 * 各団体の報告 * 防災訓練の説明
7. 7月21日（木）市）町会長連合会部会（市民会館）
* 3専門部会のキックオフ * 宮崎：環境対策部会長就任
8. 7月22日（水）有）社協常任理事会（有秋公民館）
* 賛助会員制度の最終検討 * 敬老会の確認、準備
9. 7月23日（土）天羽田町会盆踊り大会（天羽田町会広場）
* 宮崎来賓出席 * 盆踊りチームの派遣なし
10. 7月26日（火）市長との未来創生M事前打ち合わせ（有秋支所）
* 有秋支所長・市）市民活動支援課
11. 7月28日（木）有）社協理事会（有秋公民館／第1回敬老会実行委員会）
* 敬老会の検討開始 * 午前中、対象者名簿チェック
12. 7月29日（金）有）町会長連合会役員会議（有秋支所）
* 市長との未来創生Mについて 等

●市役所・警察署・消防署からのメール配信情報

- ・ 7月の犯罪：全 158件 1位 自転車盗 46件 2位 器物破損 18件 3位 万引き 13件
* 但し、～7/30のデータ
- ・ 7月の火災：0件 * 通報が0件 実火災が0件
- ・ 7月の不審者情報：4件 * 4件全て"つけ回し"

II. 審議＜決議、検討・確認＞事項

今月は決議（承認）依頼項目が1件、報告・確認依頼項目が2件です。

* 常務役員会資料参照

（決議項目）① 花の種・苗等の無料配布への対応について、対応を審議いただく。

（報告項目）① 平成28年度市原市総合防災訓練について

② 平成28年度有秋地区敬老会について

Ⅲ. 特記事項

1. 福増クリーンセンター（火災による第2工場停止）の状況について
回覧での報告の通り、昨年末の火災により停止中であった、第2工場の補修が完了し、2系列中の1系列が7月10日から稼働している。もう1系列についても8月上旬稼働の予定である。
* センターの焼却能力が復旧することになるが、発生ゴミが少なければ少ない程運転コストが低くなるので、排出ゴミの削減（ゴミの分別、ゴミの3R等）は引き続いて願います。
* 関連して今年の「市内一斉清掃デー」は、11月13日（日）に決定
2. 来年度からの敬老会について
常務役員会の報告の通り、今年の敬老会は昨年までと同じスタンスで開催されるが、来年以降は大きく変わる可能性がある。
現在（5月～8月）、市の高齢福祉課と社協で見直し検討委員会が設立され、諸検討を行っているが、検討結果については8月の最終検討委員会後に報告される。
* 開催地区単位の見直し、市の補助金の見直し、対象者名簿の扱い見直し等の検討と思われる。
* 当初は、今年の中から変更することで、市から社協に相談がされたが、はっきりしない点が多く、社協が猛反発した。特に対象者名簿を提供しないということで、これでは、参加者調査もできない状況であった。
3. お盆の休館日について
旧盆対応で、以下の通り自治会館を休館とします。
● 休館日：8月12日（金）～16日（火）
● 夏祭り準備等で、会館に用がある方への対応
（予め予定の立つ方）・自治会館に貸し出し用の鍵がありますので、事前に借りておいて下さい。（貸出帳記入）
・会館入り口：裏口（テニスコート側）の鍵、事務所鍵
（急に用ができた方）・宮崎（090-3907-4742）まで連絡下さい。適宜対応します。
* 用が済んで退館するときは、戸締り（照明、エアコン等）を確実にして、裏口から退館してください。この時に、鍵は入り口ドアのポストに入れておくこと。但し、この日以降も入館の予定があれば、鍵はそのまま持っておいて下さい。

Ⅳ. 転入・転出（7月）

* 7月31日現在の世帯数：1,232世帯

- 転入者（入会） 小田川好夫氏（4丁目） 中谷なほ子氏（2丁目）
- 転出者（退会） 谷口 フジ氏（2丁目）

Ⅴ. H28年8月の主な行事（自治会、関係団体）

1. 8月 5日（金）有）町会長連合会全体会議（有秋支所）
2. 8月 6日（土）椎の木台区盆踊り大会（高石山公園）
3. 8月 6日（土）いちほら緑園都市盆踊り大会（泉台公園）
4. 8月 6日（土）深城納涼祭（深城野菜出荷場）
5. **8月 7日（日）自治会本部役員会**
6. **8月20日（土）桜台夏祭り（中央公園）**
7. 8月22日（月）避難所運営訓練（HUG）打ち合わせ（有秋公民館）
8. 8月23日（火）有秋南小学校区安心安全NW推進委員会（桜台自治会館）
9. 8月24日（水）有）社協常任理事会（有秋公民館）
10. 8月26日（金）有）社協理事会（第2回敬老会実行委員会）

平成28年8月度 常務役員会（8月7日）

1. 公園愛護団体への花の種・苗等の無料配布について

別紙連絡書の通り、西部公園管理所（市原市地域振興財団）より、公園管理への感謝と共に、各団体への花の種・苗等の無料配布の案内がきている。一方、防犯ボランティアにも同様の連絡がきているが、自治会は各公園、防犯ボランティアは定期清掃を行っている遊歩道が対象となる。概要は以下の通りである。

- ① 配布物 花の種：菜の花 花の苗：パンジー、葉牡丹 球根：チューリップ
*種、苗及び球根の配布で、道具・肥料は入っていない。
- ② 配布時期 10月中旬～12月上旬
*取りあえず申し込んでおいて、作業等の対応は別途検討？

申込の締め切りが8月15日（月）となっているので、本件の対応について本日の本部役員会で検討して決めたい。

※別途、花ボランティア、SBC（桜台美化クラブ）が同様に無料配布を受けているが、これは道路管理（道路維持課）上の補助である。

2. 平成28年度市原市総合防災訓練について

今年の市原市総合防災訓練は、別紙の通り有秋東小学校にでの開催となるが、概要は以下の通りである。（桜台と椎の木台は特別参加の形）

- ① 訓練実施日時 ・ 9月4日（日） 8:30（事前広報）～ 11:00（閉会式・解散）
- ② 訓練会場 ・ 有秋東小学校
- ③ 訓練形態 ・ 初期消火・応急救護・救出・避難誘導等の市原市主会場
- ④ 参加者 ・ 有秋地区の全（28）町会に割り当てられ、総数が100数十名
*割り当て根拠は口頭で説明するが、桜台は"40名"の参加
⇒ 自治会本部役員、防災部員及び南小NW（4名確定）で対応したいので、協力をお願いする。
- ⑤ 桜台の対応 ・ 40名の内半数（20名）は負傷者、半数（同）は介添者役で、指定避難所（別紙参照）（東小）にバスで避難～医療対応等の訓練に参加
*南小（一時避難所設定）に集合してバスで東小に避難

※昨年（避難所訓練主会場）に同様、地震発生からの自己安全確保、一時避難所（公園）への避難、安否確認～指定避難所（南小）への避難訓練は、時間的に不可能なので、今回も行わず、日程を改めて実施する。（昨年は11月に実施）

3. 平成28年度有秋地区敬老会について

今年の有秋地区敬老会は、以下の通りの開催となるが、手順、方法等は昨年に同様である。例年通り、館野地区長、福祉部（参加者のお世話等）及び広報部（取材）の協力をお願いする。尚、協力依頼の役割分担、タイムスケジュール等詳細は別途案内する。

- ① 敬老会開催日時 ・ 9月19日（月） 10:00 ～ 12:30（式典・祝賀会）
- ② 敬老会会場 ・ アネッサ
- ③ 前準備 ・ 社協より受領の対象者名簿を元に、町内参加者調査表作成（宮崎）
・ 町内参加者調査表で参加者募集（各理事）
・ 敬老会参加者名簿作成（宮崎）
・ 敬老会案内の回覧及び参加者への案内状配布（自治会及び理事）
- ④ 前日の協力依頼 ・ 有秋支所倉庫より備品の搬入（軽トラ）及び会場設営
- ⑤ 当日の協力依頼 ・ 参加者の会場への引率（バス）
・ 桜台参加者の弁当準備手伝い及び配布
・ 敬老会終了後の会場片付け、備品の有秋支所倉庫への戻し

各公園愛護団体 御中

花の種・苗等の無料配布について（お願い）

また、公園施設、遊具の不具合等を発見された際はご連絡下さいますようお願い申し上げます。

5. 連絡、問合せ先 市原市姉崎海岸23-2 西部地区公園管理所
【電話】63-7368 【FAX】63-7369

平成28年度市原市総合防災訓練（桜台版）

日時 ; 平成28年9月4日（日） 8:30'（事前広報）～11:00（閉会式解散）
会場 ; 有秋東小学校
設定 ; 初期消火・応急救護・救出・避難誘導訓練等の市原市中央会場
参加人数 ; 主会場の総合訓練のため、フリー参加できず、別紙の通り町会毎に
割り当てあり（根拠は口頭で説明）

<訓練の流れ> ※行政担当訓練を含む

- | | | |
|---------------|----------------------|----|
| 1. 8:30～8:35 | ・事前広報 防災無線により事前放送 | 行政 |
| 2. 8:40 | ・緊急地震速報伝達 防災無線 | 行政 |
| 3. 8:45 | ・大地震発生（東小にてサイレン吹鳴） | 行政 |
| 4. 8:45 | ・広報訓練 防災無線により地震発生を広報 | 行政 |
| 5. 8:45 | ・現地災害対策本部・救護所設置 | 行政 |
| | ●本部：校庭 救護所：体育館 | |
| 6. 8:45～10:30 | ・情報収集伝達訓練 | 行政 |
| | ●対策本部員の収集情報～本部伝達 | |

-
- | | | |
|---------|---|----|
| 7. 8:45 | ・避難時初期行動訓練 | 住民 |
| | ●自身の安全確保、近所の声掛け、避難行動要支援者の支援、
一時避難所確認等 | |
| | ※本訓練は、時間的制約等で実際の展開は無理と判断する
ので、桜台は別途日程を決めて実施する。 | |

- | | | |
|--------------|-----------------------------|----|
| 8. 8:45～9:00 | ・避難輸送訓練 | 桜台 |
| | ●一時避難所(南小)から指定避難所(東小)への避難誘導 | 桜台 |
| | ※指定避難所（東小）へのバス・タクシー移動者対応 | 桜台 |
| | ※別紙 5 で説明 バス、タクシー共通 | 桜台 |

- | | | |
|--------------|-----------------|----|
| 9. 8:50～9:30 | ・煙体験訓練 | 桜台 |
| | ●バス下車後～煙体験 | 桜台 |
| | ※別紙 6 で説明 バス移動者 | 桜台 |

- | | | |
|----------------|---|----|
| 10. 8:50～10:30 | ・医療救護・身元確認訓練（20名） | 桜台 |
| | ●煙体験後、東小体育館（救護所）に移動 | 桜台 |
| | ・啓発活動（展示・体験等）（20名） | 桜台 |
| | ●煙体験後、東小体育館（啓発体験コーナー）に移動 | 桜台 |
| | ※別紙 8 で説明 バス、タクシー（一部）共通 | 桜台 |
| | ●啓発体験は、外（校庭）にもあるので自由に体験可
であるが、帰りの避難輸送訓練の関係で"10:40"まで | 桜台 |
| | ※別紙 16 で説明 | 桜台 |

応急物資輸送訓練を兼ねて、アルファ化米と水が配給されるので、
"10:40"までに貰っておく。

- | | | |
|-----------------|-------------------------|----|
| 11. 10:40～10:55 | ・避難輸送訓練（訓練終了後の帰りを兼ねる） | 桜台 |
| | ●3次避難を想定した（東小→南小）避難輸送訓練 | 桜台 |
| | ※別紙 15 で説明 バス、タクシー共通 | 桜台 |
| | ※南小到着で訓練終了～解散 | 桜台 |

平成28年度有秋地区町会世帯数と防災訓練参加人数

※ 参加予定人数は最低人数である。

No.	町 会 名	28年度		28年度防災訓練参加予定人数等					
		町会長名	世帯数	参加総数	負傷・介護	バス	タクシー	歩行避難	備考
1	片 又 木	齋藤 國壽	41	2				2	
2	迎 田	佐久間 敏夫	52	2				2	
3	永 藤	入島 久雄	29	2				2	
4	不 入 斗	時谷 眞次	94	3				3	
5	豊 成	矢城 正一	28	2				2	
6	立 野	小野 俊雄	94	3				3	
7	深 城	保坂 宣哉	65	2				2	
8	天 羽 田	亀田 文夫	127	4				4	
9	山 谷	藤谷 勝夫	53	2				2	
10	有秋台東2丁目第1	佐藤 紀孝	24	2				2	JFE
11	有秋台東2丁目第3	千葉 茂樹	22	2				2	日産化学
12	有秋台東2丁目第4	亀ヶ谷 直幸	15	2				2	日本曹達
13	有秋台東3丁目	岩下 実	480	12				12	三井化学独身寮
14	有秋台西1丁目第1	石川 淳	21	2				2	東レ独身寮
15	有秋台西1丁目第2	山田 貴之	281	9				9	住友化学
16	有 秋 台 南	藤島 清貴	73	2				2	東燃ゼネラル独身寮
17	椎 の 木 台	井倉 健二	507	12			12		タクシー・負傷者
18	雇用促進迎田住宅	竹内 正子	38	2				2	
19	桜 台 自 治 会	宮崎 栄	1,233	40		40			バス・負傷者
20	こ ぼ り	柳田 光広	53	2				2	
21	いちほら緑園都市	那須野 一郎	1,184	39				39	
22	有 秋 東	齋間 朝二	42	2				2	
23	あねがさきニュータウン	飯島 富生	35	2				2	
24	み ど り	矢野 伸夫	25	2				2	
25	不 入 斗 平 成	進藤 眞行	20	2				2	
26	有秋台東2丁目第2	立野 友樹	31	2				2	
27	スカイタウン有秋台西	佐藤 重光	70	2				2	
28	イーストステージ有秋台	矢作 豊	144	4				4	
計			4,881	164	0	40	12	112	

市民災害対応訓練

8:45~9:00

10.避難輸送訓練

有秋南小学校からの2次避難を想定した訓練
千葉県タクシー協会市原支部の協力による避難民
(避難行動要支援者)の緊急輸送(タクシー2
台・介護タクシー1台)
東京湾岸交通(株)の協力による避難民の緊急輸送
(大型バス1台)

**バス・タクシーで避難をする住
民は8:45までに有秋南小
学校へ到着する。**

出発する際は、バスが先に
出発をする。その後、普通タ
クシー2台が続き、最後に介
護タクシーが出発する。

バス1台:40名乗車
(怪我人20名、介添者20
名)

タクシー3台:12名乗車
(怪我人6名、介添者6名)

介護タクシーには車イスを積
載する。

※負傷者等はありませんが
有秋南小学校でビブス
を着る

市民災害対応訓練

有秋東小学校配置図

県道 南総姉崎線 巾9m

8:45~9:00

10.避難輸送訓練

有秋南小学校からの2次避難を想定した訓練
東京湾岸交通(株)の協力による避難民の緊急輸送 (大型バス1台)

バスにより避難してきた住民
は煙道を通過した後、体育
館内の救護所へ。
町会長は当日の訓練参加
人数を受付で報告する。



市民災害対応訓練

有秋東小学校配置図

8:50~10:30

県道 南総姉崎線 巾9m

15.医療救護・身元確認訓練

災害対策本部の要請を受けた医療派遣チーム

- 市原市医師会
- 市原市歯科医師会
- 千葉県柔道整復師会千葉東支部
- 保健師は初動対応にあたる。

医師会は、救護所に搬送された負傷者等を「救護所の医療活動マニュアル」に基づき救護及び死亡が確認された方の身元確認・初動対応を実施する。（保健師から医師への引継）

- 市原市薬剤師会

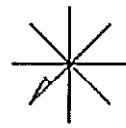
災害対策本部の要請を受けた市原市薬剤師会は現地災害対策本部に到着の報告を行う
医療薬剤を救護所に届け、管理を行う

※市救護班の活動
救護所にて、初動
医療派遣チームが

怪我人役のバス乗員20名+タクシー乗員6=26名はトリアージを、バスに乗車して来た介添者20名はSLの啓発コーナーへ。タクシーに乗車して来た介添者6名は外で仮設トイレを設置する。

トリアージを終えた26名は医師による医療救護等の後、応急救護訓練を実施。その後はSLによる展示見学、体験を行う。

SLによる展示見学、体験を行った20名はその後の応急救護訓練を実施。



(北に矢印を付す)

【体育館内レイアウト】

医療救護・身元確認訓練
市原市医師会
市原市歯科医師会
千葉県柔道整復社
市（救護班）

応急救護訓練（AED）
市（消防局）

啓発活動（展示・体験等）

SL災害ボランティア
ネットワーク市原ネット

26名

20名

入口

啓発・体験訓練

有秋東小学校配置図

8:50~10:40

県道 南総姉崎線 巾9m

24.防災関係機関啓発事業

グラウンド周辺のテント内にて各防災関係機関の活動紹介等の啓発を行う

- ① 市原市防火安全協会
- ② K9-SAR岳の会 (救助犬)
- ③ 陸上自衛隊高射学校
- ④ 建築施設課
- ⑤ 千葉県水道局千葉水道事務所
- ⑥ 大多喜ガス(株)供給部千葉事務所
- ⑦ ㈱セブン・イレブン・ジャパン市原地区事務所
- ⑧ 東日本電信電話(株)
- ⑨ NPO法人コメリ災害対策センター事務局
- ⑩ ドコモショップ市原店
- ⑪ 市原市社会福祉協議会
- ⑫ 日本ボースカウト千葉県連盟上総地区

①

②

③

④

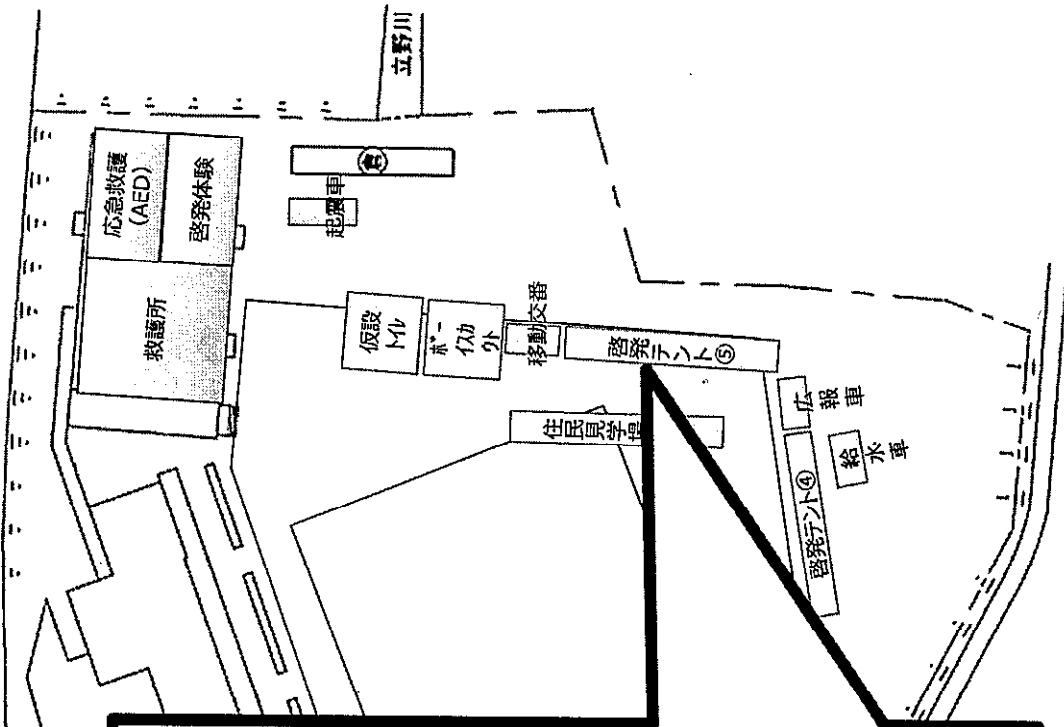
⑤

⑥

⑥車両

⑤車両

16



(北に矢印を付す)

市民災害対応訓練

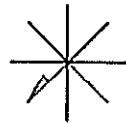
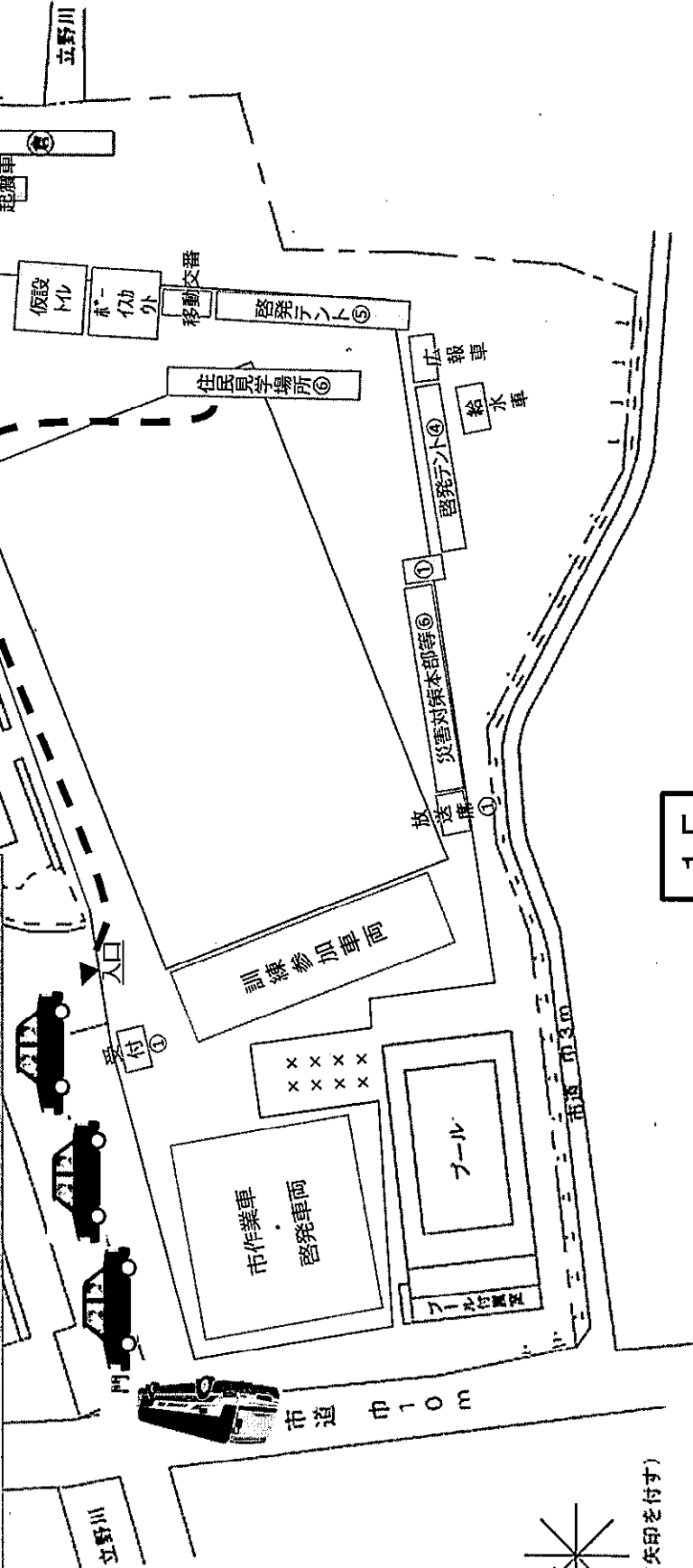
有秋東小学校配置図

10:40~10:55

県道 南総姉崎線 巾9m

23.避難輸送訓練

有秋東小学校から有秋南小学校への3次避難を想定した訓練
千葉県タクシー協会市原支部の協力による避難民（避難行動
要支援者）の緊急輸送（タクシー2台・介護タクシー1台）
東京湾岸交通㈱の協力による避難民の緊急輸送（大型バス）



(北に矢印を付す)

災害時安否確認方法の提案

2016.8.7
防災部

1. 市原市の「避難行動要支援者」の避難行動支援に関する制度

- 1) 平成24年度に「要支援者(避難することに支障がある在宅の人)」と「避難行動支援者(助ける人)」の募集、登録申請があり、市への届出を済ました人は桜台では68名。
この中で支援者の決まっていない人は3分の2。
- 2) 要支援者のリストは市から自治会へ配布されていた(平成24年6月29日現在)。
- 3) このリストは自治会の「安否確認シート」には反映されておらず、4年間放置されていた。
- 4) 有秋南小安心・安全ネットワークから「安否確認シート」の見直し、支援プラン、個別計画の作成、運用の提案があり、これを機会に5月、6月の防災部会で検討、意見交換。

2. 防災部の意見

- 1) 安否確認シートは作成しても、「安否確認が必要なほどの実際の災害時」には利用のしようがない(阪神大震災、東日本大震災、熊本地震など)。
→行政では作成すれば事は足りる? 災害後の確認?
- 2) 実際の災害時に近隣の人などを「指定」して、支援者を決めることなどできない。
→68名の要支援者のうち3分の2は支援者未定(未記入)。
- 3) 災害時の救助は救助する側の立場では少しでも多くの人々を短時間で、効率よく助けたい→救助隊、民間とも
- 4) そのために救助を必要としない人、無事である人は「サイン」を示す→一軒一軒安否確認の必要が無くなり、救助の効率化ができる。
→サインを出せない人は皆で救助する。
- 5) この「サイン」はどのようなものが適正か→タオル、旗(目立つもので、できるだけ安価なもの、立派である必要はなく、皆で同じもの)
例) 千葉市、横浜市の一部自治会では「無事ですタオル、ハンカチ」で運用

3. 防災部の提案

災害時に「無事であることを示す目印(物品)」を各世帯に配布し、災害時に玄関、門扉等に掲げ、救助活動の効率化に役立てる。

物品については立派なものである必要はなく、全世帯分(1231世帯)で10万円程度か
→できるだけ安価なもの、大量注文可能なもの

以上本部での検討をお願いいたします